

# 第23回 全国消防救助技術大会







# 第23回全国消防救助技術大会

平成6年8月25日 京都市消防学校



一九九四年 夏ノ第二三回全国消防救助技術大会  
 (主催) 全国消防協会、後援 自治省消防庁、全国消防長会、財団法人船舶振興会(はるる八月二十五日京都市消防学校において、千年の都 いきいき京都) スキュー/94」をスローガンに盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が日頃鍛磨した高度な専門知識や救助技術を相互に交換し、研鑽する場として昭和四十七年から毎年開催しているものである。大会の会場となった京都市は、平安京以来の歴史的な発展を背景に育まれ、長らく日本の政治、文化観光の中心として米えてきた所である。今年で平安建都二二〇〇年を迎え、古都としての歴史的な遺産が美しい自然に溶け合せて受け継がれ、日本人の心の故郷として日本、世界の文化首都の中核をめざし、二一世紀に向けたまちづくりを進めている都市である。

午前九時、気温二二度(訓練会場) 約四、五〇〇人が見守る中、静養古都の夏空に高らかにファンファーレが鳴り響き、いよいよ入場行進である。

京都市消防音楽隊の演奏に乗って、「KFエンジンルス」が入場、続いて大会旗を先頭に大会役員、全国九地区支部を代表する九三九人の精鋭隊員、最後は「国際消防救助隊連合旗」に先導された全国四〇本隊、五〇一人の登録隊員を代表する国際消防救助隊が、日頃の訓練で日焼けした精悍なマスクと、自信と誇りを胸に、威風堂々と行進する姿に会場からは割れんばかりの拍手が沸いた。

開会式は、大会運営委員長である松井京都市消防局長の清明なる開会宣言で始まり、全国殉職消防隊員の御霊に対し黙禱を捧げ、田旗及び大会旗を掲揚後、小山会長、田邊京都市長のあいさつ、野中自治大臣、荒巻京都府知事、井上京都市会議長の祝辞、多数の方々からの祝電披露と続き、大会審判長である堀北九州市消防局長の審判長指示後、京都市消防局長島田隊員が出場隊員を代表して力強く隊員宣誓を行った。

いよいよ陸上会場と水上会場での訓練開始である。本大会から陸上の部は、「高所人命救助」と「斜めブリッジ救助」を一本化し、陸上の部九種目、水上の部七種目で訓練が行われた。

今夏、日本列島は記録的な猛暑が続き、それだけでなく「京都の夏は暑い」との定評とあり京都地域は連日の真夏日、熱帯夜が連続し、この暑さの中にあつて各隊員は、照りつける太陽をも凌ぐフライトとみなざる闘志で体中から吹き出す汗をはじめ飛ばし、日頃鍛磨した技術を十分に発揮し、訓練は予定どおり進行した。

また、夏の溺水対策が続く中で十分な訓練、納得した訓練が出来なかつたのではと危惧したが、出場隊員は水面に差し込む強い陽射しを全身に浴びて、平素の練習によって培われた技術を立派に披露した。

延々五時間余りに及び訓練が続く中で陸上会場の随所で、訓練を終えた隊員達が再会を喜び、また新しい友情に再会を誓いながら、訓練を離れて楽しく談笑したり、共に他の訓練隊員に声援を送っている姿が実に爽やかで印象的であった。また、プールサイドに北側に設けられた隊員席、いこいこも訓練を話題

に各地の隊員達が楽しく談笑している姿が見られ、全国大会という規模のもつ消防の輪が感じられた。全国大会は、各地の隊員が一同に会する唯一の場である。

訓練終了後、すべての技術と体力を出し切り充実感と満足感が漂う隊員達を称え、京都市消防音楽隊とカラーガード隊「KFエンジンルス」が華麗なドリル演奏を披露し、大会に華を添えてくれた。

閉会式では、会長から「規律厳正、士気旺盛、日頃の訓練成果を遺憾なく発揮された。今後ともより一層の救助技術の錬磨と研鑽に務め、地域住民の負託に答えられるよう期待する」との講評があった。国旗降納に続いて大会旗が京都市消防局長から、次回開催の北九州市消防局長に手渡され、堅い握手が交わされた。

京都市消防局長が閉会を宣言し、訓練塔に「来年北京九州市であいましょう」の垂れ幕が掲げられ、大会の幕は閉じられた。

連日の猛暑の中で会場設営及び大会の運営に当たられました京都市消防局に対し衷心より感謝申し上げます。







あいさつ  
(財)全国消防協会  
会長 小山 貞

第三回全国消防救助技術大会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

平安建都以来二二〇〇年の記念すべき年を迎えた伝統の街、ここ京都市において、本大会をかくも盛大に挙行できますことをお喜び申し上げます。

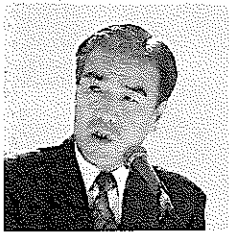
本日は、公務ご多端の折にもかかわらず、野中自治大臣殿、荒巻京都府知事殿、田邊京都市長殿をはじめ、多数のご来賓のご臨席をいただき厚くお礼申し上げます。

近年、都市化の進展に伴い、予測し難い災害が発生する危険は一層増大しております。本年四月に発生した名古屋空港にお

ける航空機墜落火災事故では、多くの尊い人命が失われましたが、困難な状況のなかで一六名の生存者を救出した消防隊の救助活動には、大きな賞賛の声が寄せられ、国民の信頼を高めたところであります。

この大会は、高度な救助技術を錬磨し、また、災害活動にそなえて強靱な体力と精神力を養うことを目的として、毎年実施するものであります。全国九地区支部から選抜された皆さんは、本大会の趣旨を十分に理解し、平素の訓練で培われた救助技術の成果を遺憾なく発揮するとともに、安全管理に万全を期し、所期の目的を達成するよう願うものであります。

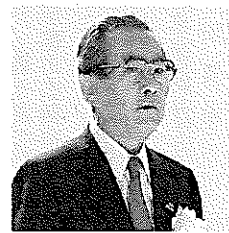
終わりに、本大会の開催にあたり格別のご高配をいただきました関係各位、並びに各般にわたり多大のご尽力をいただきました京都市ご当局及び京都市消防局の皆様には、心からお礼を申し上げます。



祝 辞  
京都府知事（代理）  
草木慶治副知事



祝 辞  
自治大臣  
野中広務



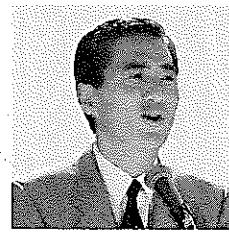
あいさつ  
京都市長  
田邊朋之



審判長指示・次回開催地あいさつ  
北九州市消防局長  
堤 照正



開会宣言  
京都市消防局長  
松井延夫



祝 辞  
京都市会議長  
井上与一郎

ロープブリッジ渡過(個人)

水平に展開した渡過ロープ二十メートルを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。



表彰者

- 北海道  
 三笠市 坂本 一茂  
 北留 田川 善幸  
 北留 兼田 伸司  
 上川南部(消事) 岸 敬泰  
 東北  
 西村山広域(行事) 榎 和幸  
 村山 市 奥山 芳紀  
 新発田地域広域(事) 西奈美 登志  
 関東  
 高萩市・十王町(事) 鈴木 誠一  
 大宮市 蓮見 耕一  
 所沢市 近藤 隆正  
 飯能市 加藤 陽一  
 千葉市(局) 永野 隆行  
 市川市(局) 小林 隆行  
 市川市(局) 村田 義弘  
 船橋市(局) 小溝 茂

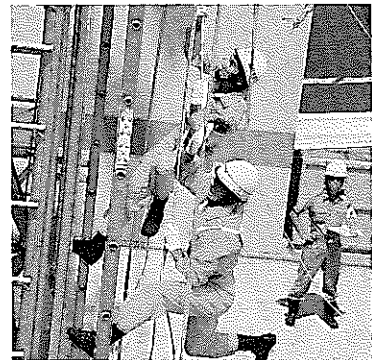
安房郡市広域市町村圏(事)

- 横浜市(局) 平島 義治  
 藤沢市 佐藤 信秀  
 逗子市 福岡 隆二  
 松本広域(局) 坂本 陽一  
 青木 一成  
 東海  
 知多中部広域(事) 榑原 秀樹  
 知多南部広域(消組) 杉本 和弘  
 羽島市 野田 温康  
 松阪地区広域(消組) 道明 則幸  
 東近畿  
 金沢市 小林 克幸  
 加賀市 大和 勉  
 若狭(消組) 堂下 勉  
 近畿  
 大坂市(局) 山中 修一  
 大坂市(局) 坂倉 康法  
 大坂市(局) 堀内 治  
 大坂市(局) 中谷 誠  
 中国  
 賀茂広域(行組) 古田 安伸  
 益田地区(組) 三浦 拓  
 益田地区(組) 山根 秀信  
 四国  
 飯(綾消組) 平池 孝之  
 八幡浜地区施設(事) 居村 稔  
 九州  
 福岡市(局) 戸崎 六朗  
 福岡市(局) 大庭 直志  
 八代広域(行事) 中村 唯志  
 八代広域(行事) 吉田 一也  
 八代広域(行事) 上野 三郎

ロープ登はん(個人)

垂下されたロープを手だけを

使つて十五メートル登はんする。壁面を蹴つたり、足にロープを巻きつけることなく登はんしなければならぬ。



表彰者

- 北海道  
 羊蹄山ろく(消組) 岡田 匡弘  
 石狩北部地区(消事) 佐藤 則幸  
 東北  
 野辺地平内地区(消事) 杉山 正晴  
 天童市 多田 明和  
 双葉地方広域市町村圏(組) 林 浩  
 関東  
 南那須地区広域(行事) 門井 幸紀  
 坂戸・鶴ヶ島(消組) 志塚 仁志  
 安房郡市広域市町村圏(事) 洲永 雄治  
 八千代市 立石 勝己  
 袖ヶ浦市 勝呂 憲夫  
 東京消防庁 高橋 昇  
 横須賀市 林 禎久  
 海老名市 井上 廣  
 東海  
 名古屋市(局) 美島 正次  
 郡上広域(行事) 河合 智

東近畿

- 金沢市(局) 北島 将平  
 京都(局) 西村 誠一  
 近畿  
 大坂市(局) 米田 治朗  
 大坂市(局) 神戸 克己  
 堺市高石市(消組) 河下 武史  
 城崎町 金納 広行  
 中国  
 広島市(局) 原脇 勝司  
 益田地区(組) 梅谷 文博  
 海部(消組) 石川 幸一  
 九州  
 福岡市(局) 東 敏光  
 大島地区(消組) 藤山 操  
 那覇市 仲間 司

はしご登はん(個人)

自己確保の命綱を結索後、十五メートルの垂直のはしごを登はんする。災害建物への進入など消防活動に欠かせない技術。



表彰者

陸上の部

千歳市	中村一昭	北留萌(消組)	八谷久幸	北十勝(消事)	藤村和己	東北	西置賜(行組)	佐藤輝彦	新発田地域広域(事)	笠原正幸	上越地域(消事)	猪俣浩之	南佐渡	若林孝至	関東	栃木地区広域(行事)	荒井進	栃木地区広域(行事)	名淵恭司	笠間市外三町広域(消事)	佐久間正美	行田市	堀一夫	宮代町	野原富士夫	木更津市	鈴木祥史	印西地区(消組)	古山進	袖ヶ浦市	田辺勉	横浜市(局)	中山貴幸	相模原市	日時靖弘	飯田広域(消組)	柄澤喜幸	清水市	鈴木康臣	東海	岡崎市	勝間田章	知多中部広域(事)	榎原昭二	各務原市	小林達也	揖斐郡(消組)	小林昌矢	東近畿	京都市(局)	尾本幸伸	京都市(局)	吉村経樹	西和(消組)	山倉好啓	近畿	大坂市(局)	山尾幸司	大坂市(局)	上田実人	東大坂市(局)	橋本篤司	八尾市	普天満朝彦	中国	田中浩二	廿日市市	
-----	------	---------	------	---------	------	----	---------	------	------------	------	----------	------	-----	------	----	------------	-----	------------	------	--------------	-------	-----	-----	-----	-------	------	------	----------	-----	------	-----	--------	------	------	------	----------	------	-----	------	----	-----	------	-----------	------	------	------	---------	------	-----	--------	------	--------	------	--------	------	----	--------	------	--------	------	---------	------	-----	-------	----	------	------	--

防府市	伊藤慎二	四国	三好謙一	小豆地区	池田篤史	三好郡(行組)	九州	北九州(局)	成松敬介	甘木・朝倉	星野利文	甘木・朝倉	塚本栄士	佐世保市(局)	迎晃
-----	------	----	------	------	------	---------	----	--------	------	-------	------	-------	------	---------	----

ほくく救出(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、一人が空気を呼吸器を着装して八メートルの煙道を検索し、要救助者を屋外に救出、一人で協力して要救助者を搬送する。ビルや地下街で煙にまかれた人を救助する基本的な訓練。



表彰者

北海道	日高	東部(消組)	向井道一	佐藤克光	佐藤揚義
-----	----	--------	------	------	------

東北	大曲仙北広域市町村圏(組)	進藤政喜	齋藤雅樹	八木克司	会津若松地方広域市町村圏整備(組)	星政利	古賀信広	玉川孝徳	関東	北本市	鈴木紀央	桜井達二	堀哲也	入間東部地区(消組)	三上晃	富田重治	小島学	鈴木康雄	三浦将行	石塚登	池上浩行	佐野匡一	柏木實	中島清治	岩崎浩光	原敬久	東海	名古屋市(局)	宇都智彦	清水隆義	額綱吉博	渡辺道徳	佐藤雅樹	佐藤基	東近畿	京都市(局)	石川一廣	又吉興二	山口陽弘	木戸英明	梅永聖児	宇治市	
----	---------------	------	------	------	-------------------	-----	------	------	----	-----	------	------	-----	------------	-----	------	-----	------	------	-----	------	------	-----	------	------	-----	----	---------	------	------	------	------	------	-----	-----	--------	------	------	------	------	------	-----	--

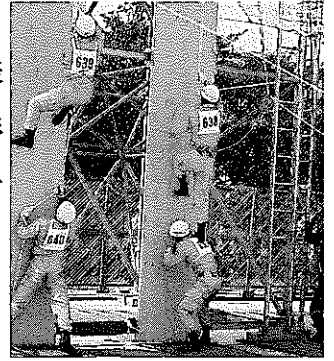
近畿	大坂市(局)	白石徳明	島和也	北岡秀朗	新畑元義	高野元伸	山根勝敬	孝村久男	橋本和彦	大西訓史	中国	岩国地区	柳川和洋	上村信行	田村洋一	四国	宇和島地区広域(事)	赤松千明	岡島晃明	武田浩人	九州	粕屋北部	水上租弥	許斐芳彦	阿部亨	田中謙治	広瀬誠	大越憲洋	吉本直樹	山田一郎	南部隆之	熊本市(局)	熊本市(局)	熊本市(局)	熊本市(局)
----	--------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	----	------	------	------	------	----	------------	------	------	------	----	------	------	------	-----	------	-----	------	------	------	------	--------	--------	--------	--------

ロープ応用登はん(団体)

登はん者と補助者が二人一組で協力し、器具を使わずに、垂下されたロープを十五メートル登はんする。

陸上の部

表彰者



北海道  
 岩見沢地区(消事) 竹本 憲康  
 藤原 弘和  
 北十勝(消事) 鶴沢 明宏  
 岡本 信隆  
 東北  
 八戸地域広域市町村圏(事) 大南 正彦  
 相坂 一彦  
 仙台 市(局) 佐々木勝博  
 芳賀 丈夫  
 川上榮太郎  
 山田 征義  
 小千谷地域  
 関東  
 筑西広域市町村圏(事) 増淵 文雄  
 上野 貴史  
 稲敷地方広域市町村圏(事) 関野 敦夫  
 永井 貴史  
 倉本 豊  
 須藤 弘之  
 岸田 泰之  
 肥沼 圭一  
 掛川 謙三  
 森 正幸  
 田中 源明  
 志木 市

森田 政則  
 佐倉市八街市酒々井町(消組) 平田 裕  
 東京消防庁 石橋 浩二  
 八文字博之  
 有ヶ谷憲俊  
 原田 千春  
 長沼 淳  
 東京消防庁  
 東海 知多南部(消組) 山本 勇  
 大岩 秀幸  
 佐久間充治  
 角谷 明信  
 海津郡(消組) 濱田 学保  
 坂本 卓也  
 今儀 浩一  
 岸本 隆弘  
 舞鶴市 西岡 義博  
 野村 彰  
 石谷 恵之  
 阪下 晴彦  
 北田 一人  
 山添 正広  
 東大阪(局) 古田 安伸  
 田坂 達哉  
 相本 利昌  
 下田晃一郎  
 中国 賀茂広域(行組) 山下 聡  
 丸亀市 松田 充弘  
 野口 正一  
 西村 正幸  
 九州 岸川 大輔  
 佐藤 靖之  
 福岡市(局)

宗像地区 日野 敏行  
 遠藤 正章  
 大隅肝属地区(消組) 下八重克則  
 小川 祐二

斜めブリッジ救助(団体)

五人一組(要救助者を含む)で、三連はしごを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、ロープで斜めブリッジ線を展張、要救助者を救出し、脱出する。



表彰者

北海道 札幌市(局) 小川 忠司  
 十河 敏明  
 泉沢 真一  
 小林 剛  
 鈴木 洋介  
 上ヶ島 慎  
 多田 亮  
 長谷川隆之  
 松村 学  
 飯田 浩寿  
 東北

新発田地域広域(事) 高橋 道夫  
 高橋 広基  
 佐藤 克範  
 高橋 孝美  
 遠藤 和一  
 仙田 一正  
 伊藤 公雄  
 石川 宏幸  
 田村 一夫  
 小林 功和  
 関東 所沢市 高見沢真二  
 片岡 治  
 鳥海 武  
 北田 儀明  
 岩崎 邦明  
 山田 達也  
 出川 和明  
 服部 正洋  
 若林 直樹  
 大神田 淳  
 古谷野省一  
 永松 照彦  
 池長 久夫  
 金子 一幸  
 深野 高弘  
 野口 久  
 小林 一雄  
 竹之内義和  
 藤井 正則  
 藤本 恵一  
 野本 幸夫  
 島本 幸夫  
 市川 敬章  
 高橋 力弥  
 濱田 良二  
 星野 勝文  
 奥村 正信  
 須藤 和寿  
 松戸市(局)  
 野田市  
 入間市  
 入間東部地区(消組)  
 横浜市(局)







陸上の部

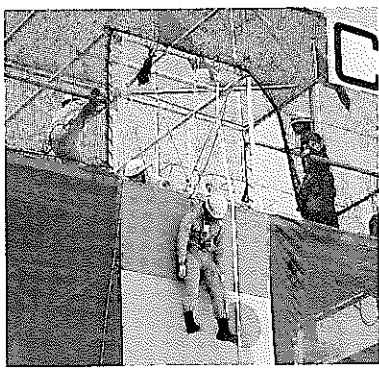
海部西部(消組)	天野 浩志	横井 利幸	渡辺 直樹	田島 弘二	柏村 和成	増田 明裕	野々口 優	八軒 幸史	山本 敏和	吉村 紀男	佐藤 導英	中村 正俊	名畑 徹	猿田 榮一	永石 誠二	橋口 博之	山下 伸也	岩熊 徹	寺浦 彰展	横得 順一	片山 雅義	大原 淳	藤原 尚弘	片岡 和明	柳瀬 友彦	古川 浩	小椋 幸浩	山本 貴勇	清水 剛士	深田 勲	沖中 恭孝	象谷 直美	尾崎 英規	向平 修二	福永 洋治
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

松江地区広域(行組)	宮崎 哲人	井上 英喜	坂本 治男	船木 康弘	瀬尾 欣也	野並 一人	北村 嘉健	岡田 和樹	今井 照郎	日比野 望	高田 隆生	中禮 康久	清水 俊也	糸長 正顕	岩田 忠好	諸泉 幸次	平島 啓司	渡邊 恒輝	大迫 勉	鮎川 伸一	益田 徳仁	浦上 一敏	山下 伸介	平山 浩二	下門 和弘	草(消組)	天	北九州(局)	九州(局)	四国(局)	高知(局)
------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---	--------	-------	-------	-------

引揚救助(団体)

五人一組(要救助者を含む)で、二人が空気呼吸器を着装して、塔下に降下、検索の後要救助者を搬送し、四人で協力して塔上に引揚げ、救助後ロープ登はんにより脱出する。地下やマンホール災害事例から生まれた訓練。

北海道	中井 健	山本 大	鈴木 和也	澤本 典弘	増井 秀昭	相楽 英雄	糸井 友行	近内 正文	川崎 芳弘	林 健文	本間 勝嘉	新保 敏之	江部 崇	幸田 和之	吉倉 辰哉	中村 孝幸	押野 勉	岡野 澄夫	波多野 直之	河原井 豊	江橋 浩
-----	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	------



川口市	猿田 純夫	澤根 信一	関根 育雄	齋藤 和雄	黒田 清美	黒井 達也	門馬 武彦	荻原 忠	大木 政則	真部 聡	菊地 正幸	齊藤 利弘	原田 正美	高木 馨	小松 和央	齊藤 孝士	貝瀬 幸夫	小野 久志	菊地 要二	猪股 克哉	吉野 克彦	加藤 智	中島 毅	杉本 正明	杉本 明彦	榎園 善彦	堅山 秋義	中原 洋二	東海	名古屋(局)	一宮市
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	----	--------	-----



陸上の部

水上の部

東近畿  
金沢市

京都(市局)

馬場 純一  
平田 和雄  
北島 将平  
仁尾 将等  
西田 和彦  
堀本 芳弘  
長島 郁雄  
林 康彦  
田保 幸宏

複合検索(個人)

マスク・足ヒレ・スノーケルを着装して、浮遊障害物を突破しながら水中のリングを検索し引き上げる。水中での行方不明者の検索を想定した種目。



表彰者

北海道  
札幌市(市局)  
市川 幸典  
関東  
川口市  
佐藤 明芳  
東京消防庁  
峰尾 武博

近畿  
大阪(市局)

中国  
広島(市局)

森 暢数  
中村 豊  
藤田 吉仁  
田中 克典  
大川 靖仁  
左近 雅之  
納谷 雅之  
八田 道男

横浜  
横浜市(市局)

藤沢  
藤沢市(市局)

茅ヶ崎  
茅ヶ崎市(市局)

田方  
田方地区(消組)

東海  
名古屋(市局)

近畿  
京都(市局)

大阪  
大阪市(市局)

大坂  
大坂市(市局)

神戶  
神戶市(市局)

中国  
広島(市局)

海田  
海田地区(消組)

阿国  
阿国地区(消組)

松山  
松山市(市局)

福州  
福州市(市局)

有田  
有田地区(消組)

岩国地区(消組)

九州

松元 一郎  
中本 政浩  
中島 邦彦  
村田 芳樹  
山本 利昭  
山田 広海  
池田 圭吾  
池田 和宏  
佐古 健

基本泳法(個人)

「しゅんが飛び込み」及び「二種類の基本泳法(抜き手・平泳ぎ)」を常に顔が水面に出た状態で行う。水難救助の基本技術。



表彰者

北海道  
札幌市(市局)  
阿部 学  
東北  
仙台市(市局)  
千田 真一  
仙台  
仙台市(市局)  
坪田 卓  
関東  
川口市  
照井 武

大分  
大分市(市局)

鹿児島  
鹿児島市(市局)

黒枝 順二  
岡本 健仁  
緒方 信幸  
山本 正浩  
照山 政則  
松下 剛  
前田 武史  
高附 和文  
高附 和文  
米森 成久  
安樂 成久

千葉  
千葉市(市局)

東京  
東京消防庁(市局)

横濱  
横濱市(市局)

茅ヶ崎  
茅ヶ崎市(市局)

東海  
小牧市(市局)

豊橋  
豊橋市(市局)

岐阜  
岐阜市(市局)

東近畿  
東近畿(消組)

京都  
京都市(市局)

大阪  
大阪市(市局)

大坂  
大坂市(市局)

神戶  
神戶市(市局)

中国  
岡山(市局)

岡山  
岡山市(市局)

八幡浜地区施設(事)

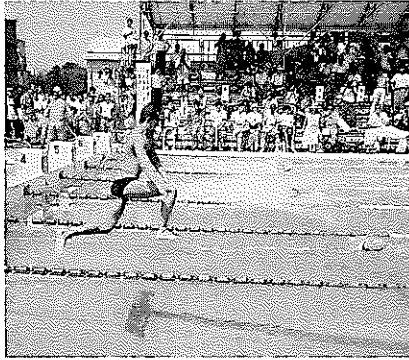
新濱 秀樹  
佐藤 司典  
菊地 達弥  
松崎 良樹  
小林 孝  
伊藤 孝雄  
矢野 孝博  
中村 孝志  
北野 充  
吉村 彰二  
矢田 雅也  
一木 邦彦  
村田 哲  
原 弘典  
岡部 豪  
西田 保典  
山崎 基嗣  
山中 勝司  
香西 修武  
木戸 克安



佐世保市(局) 松村 洋一  
 浦添市 親川 裕司  
 東 部(消組) 宮城 哲也

溺者救助(団体)

三人一組(要救助者を含む)で、救助者と補助者の一人が協力して浮環に救助ロープを結着、補助者がプール内に投下、救助者が二十メートル先の要救助者の位置まで搬送、これに要救助者を掴まらせ補助者が救助ロープをけん引救助する。



表彰者

北海道

札幌市(局)

東京消防庁

東京消防庁

井村 拓二  
 坪井 光久  
 阿部 学

堤 清利

石崎 涉

相澤 伸一  
 小椋 伸一

東海 名古屋市(局)

岡崎 市

東近畿 京都 市(局)

近畿 大阪 市(局)

大阪 市(局)

神戸 市(局)

中国 呉 市(局)

四国 高松 市(局)

九州 大分 市(局)

浦添 市

佐藤 勇  
 真瀬 深吾

光本 慎一

植野 光司

佐橋 正樹

村上 一生

柴田 善行

山田 貴淑

佐藤 正和

佐々木 康裕

東 昌文

森 丈志

小野 亨

村田 哲

谷 光明

阪口 隆司

島山 裕幸

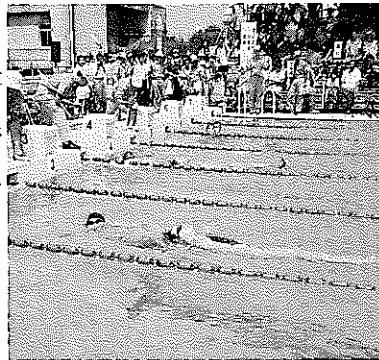
水野 厚

志水 和男

高橋 伸武  
 村越 眞一  
 小山 眞一  
 梶東 義一

溺者搬送(団体)

二人一組(要救助者を含む)で、救助者は「しゅんか飛び込み」後、溺者を注視しながら近づき、逆行の姿勢をとり、「チンプール」へ「アーキアリー」により救助する。



表彰者

北海道

札幌市(局)

関東 大宮 市

市川 市(局)

東京消防庁

東京消防庁

横浜 市(局)

東海 名古屋市(局)

可 田家 茂  
 河合 誠  
 大脇 英法

東近畿 京都 市(局)

京都 市(局)

京都 市(局)

近畿 大阪 市(局)

大 神谷 芳之

神 渡場 正司

神 谷 康彦

神 小嶋 成幸

神 有田 達年

神 知野見和之

中 勢万 栄

中 伊藤恵一郎

中 松野 利通

中 井上 隆生

九 熊本 市(局)

九 藤山 修一

九 徳永 千恵

宇 谷川 英明  
 城 福島 徹

救援物資搬送(団体)

三人一組で、第一泳者は「二重もやい結び」のたすき掛けと腰部への「もやい結び」により、二本のロープを伸長しながら泳ぎ対岸へ至る。第二、第三泳者はサーフライフダーに物資の積載を完了後、協力して搬送する。対岸や岩場等の要救助者への救助必要物資の搬送を目的とした種目。





東京消防庁

相模原市

東海  
小牧市

伊藤 剛之  
伏木 義和  
渡邊 正志  
渋谷 聡  
小椋 伸一  
江成 幸夫  
守谷 宏  
加瀬 貴志

柄沢 高広  
松野 直樹

近畿  
大阪(市局)

各務原市

東近畿  
大津市

荒巻 大策  
一木 邦彦

伊藤 孝雄  
安藤 一春  
加藤 一明  
横山 浩二

北野 充  
弓坂 則行  
重盛 篤樹

大坂 大策  
一木 邦彦

大 阪 (市局)

尼 崎 (市局)

中 国  
広 島 (市局)

渡辺 正司  
浦山 孝康  
林 孝司  
小野 亨

岡村 和将  
谷田 勝  
荒木 大輔

岩藤 衛  
花岡 啓治  
田川 重信

四 国  
松 山 (市局)

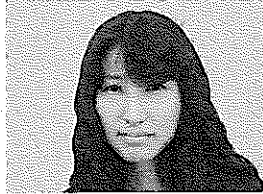
九 州  
長 崎 (市局)

佐世保市(局)

政田 昌三  
西岡 克仁  
山本 泰孝

山本 哲也  
上田 勝海  
中村 淳二  
坂本 秀樹  
松崎 利春  
松村 洋一

野里早百合さん(愛知県)



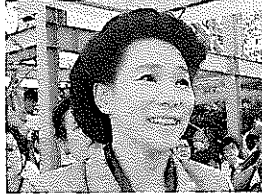
①他県の訓練が見れてよかった。  
②人命救助のため、ひたむきに訓練に取り組むところ。  
③大いなる飛躍。

武田マミさん(徳島県)



①見たこともない色々な種目があつて、いろいろな救助の方法があるのに感動しました。  
②救助訓練の大きさに心を引かれました。  
③多種多様な災害現場での安全確保  
④身体に気をつけて、住民の為に救

助など頑張ってください。  
京美人さん(京都府)



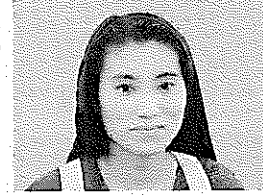
①初めて見学しましたが、毎日大変なエネルギーを使い努力し、体力をつけておられることに、レンジャー(救助)に実際に直面されても「これなら」と安心感を感じました。  
②救助の仕事の為に生まれてきた人のように、限界まで努力され、一秒でも早く、強く、安全に活動する姿はまさに神業で、たえず自己への挑戦をしているところ。  
③安全性。絶対に事故がないように自分の身体も大切にしていただきたいと思ひます。  
④過酷な訓練をされていることをもつともっと一般の方にアピール、報道していただきたいと思ひます。一般の方々への参加を多くして貰ひたい。

目羅 敏さん(千葉県)



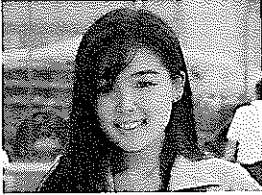
①どの種目の隊員を見ても、地区大会の成績が優秀な隊員なので甲乙つけがたく、みんな精一杯取り組んでいる姿に感動し、素晴らしい大会でした。選手の皆様ご苦労さまでした。  
②日頃から激しい訓練をされ、いついかなる時でも出勤していく姿に憧れます。  
③今後、超高層建築物が増え、また高齢化社会になっていく中において高度な救助技術と迅速かつ的確な状況で対応してくれるよう期待しています。  
④IRITの活動を海外だけでなく、国内の災害にも協力していく体制作りができる活動範囲も広がるし、もつと国民にIRITの組織や存在を知ってもらえらると思ひます。

釜賀裕子さん(熊本県)



①救助隊員の汗の輝きがとても眩しく、その姿はとても凛々しくて私の目に焼きつきました。  
②災害や事故での活躍を期待します。

③自分自身を鍛え、人の命を助ける  
④体に気をつけて頑張ってください。  
植野洋子さん(奈良県)



①これぞ、男々という感じで、頼もしくて感動が伝わりました。  
②人命救助の為に、一生懸命訓練に励んで自己を鍛えている姿

③これからの社会にとって信頼のお

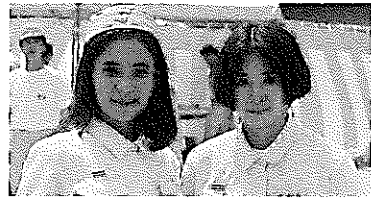


ける緊急時のスーパーマンでいてくれると思います。

④私の彼氏のお給料を上げてやって下さい。

井上夜子さん(京都府)

馬場智子さん(滋賀県)



①全国はやはり一味違う。

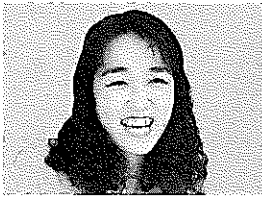
②自分の命を引きかえてでも救助をこころみる精神力と人並み外れた体力。

③優しさと勇敢さと少しのお笑い精神。

④消防士なので

何ともいえませんが、市民のために私達も頑張ります。

菊地真由美さん(東京都)



①皆さんが一生懸命で、全力を尽くしている姿にとても感動しました。

②人命を救う為にあらゆる訓練をし、自分の命をかけて助けてあげるところに心を引かれます。

③こんな素晴らしい救助技術を実際の活動現場で活かしてほしい。

④市民にやさしい消防職員であってほしい。



③迅速・的確な人命救助と心優しい人間性。

④自分の命も大切にして下さい。

前田直美さん(鹿児島県)

①とにかく全国の救助隊の精鋭たちの集まる大会だけあって、「すごい！」の一言です。

②一生懸命なところ。



③こんな素晴らしい救助技術を実際の活動現場で活かしてほしい。

④市民にやさしい消防職員であってほしい。

浅田昭子さん(大阪府)

①今日、初めて見ましたが、今日のために毎日訓練して大変だなあと感じました。あんなに早くロープやはしごを登ったりするのには驚きです。

②一生懸命な所

③実際の人命救助に役立ててほしい。

④この救助隊員のひたむきな姿をより多くの市民に見てもらいたいです。



インタビュー項目

①救助大会を見ての感想は?

②救助隊員のどのような所に心を引かれますか?

③救助隊員の何を期待しますか?

④消防に対する要望等があればお願いします。

大会経過

第一回	昭和四七年九月一八日	東京都豊島
第二回	昭和四八年九月二二日	大阪府扇町公園
第三回	昭和四九年九月二八日	横浜市県立保土ヶ谷公園
第四回	昭和五〇年九月一〇日	東京都平和島公園
第五回	昭和五一年九月一〇日	名古屋白川公園・瑞穂プール
第六回	昭和五二年八月五日	横濱市消防訓練センター
第七回	昭和五三年八月二二日	千葉市消防学校
第八回	昭和五四年八月二四日	大阪府防学校
第九回	昭和五五年八月一九日	名古屋白川公園・瑞穂プール
第一〇回	昭和五六年八月一九日	横濱市消防訓練センター
第一一回	昭和五七年八月一九日	横濱市消防訓練センター
第一二回	昭和五八年八月一九日	大阪市大阪城公園・消防学校
第一三回	昭和五九年八月二四日	名古屋白川公園・瑞穂プール
第一四回	昭和六〇年八月二四日	名古屋白川公園・瑞穂プール
第一五回	昭和六一年八月二四日	神戸市市民防災総合センター・神戸市女子プール
第一六回	昭和六二年八月二二日	千葉市消防学校
第一七回	昭和六三年八月一九日	昭和六三年八月一九日
第一八回	平成元年八月二五日	横浜白川公園・瑞穂プール
第一九回	平成二年八月二四日	名古屋白川公園・ファミリープール
第二〇回	平成三年八月二八日	大阪府防学校
第二一回	平成四年八月二八日	千葉市防学校
第二二回	平成五年八月一〇日	福岡市アジア太平洋センター建設用地・県立総合プール









## 第13号

平成6年9月20日発行

編集  
発行 (財) 全国消防協会

〒102 東京都千代田区飯田橋3-11-3

(飯田橋豊国ビル) 電話03(3234)1321(代)